

平成20年8月20日
原子力安全対策課
(20-34)
<14時資料配付>

高速増殖原型炉もんじゅのプラント確認試験等の工程について (プラント確認試験の終了時期等の変更)

このことについて、独立行政法人日本原子力研究開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

高速増殖原型炉もんじゅ（高速増殖炉：定格電気出力28万kw）は、プラント全体の健全性確認を行う「プラント確認試験」を平成19年8月31日から実施しているところであるが、ナトリウム漏えい検出器等の点検作業が当初の予定より長期化したことなどにより、工程の見直しを行い、プラント確認試験の終了時期を変更する。

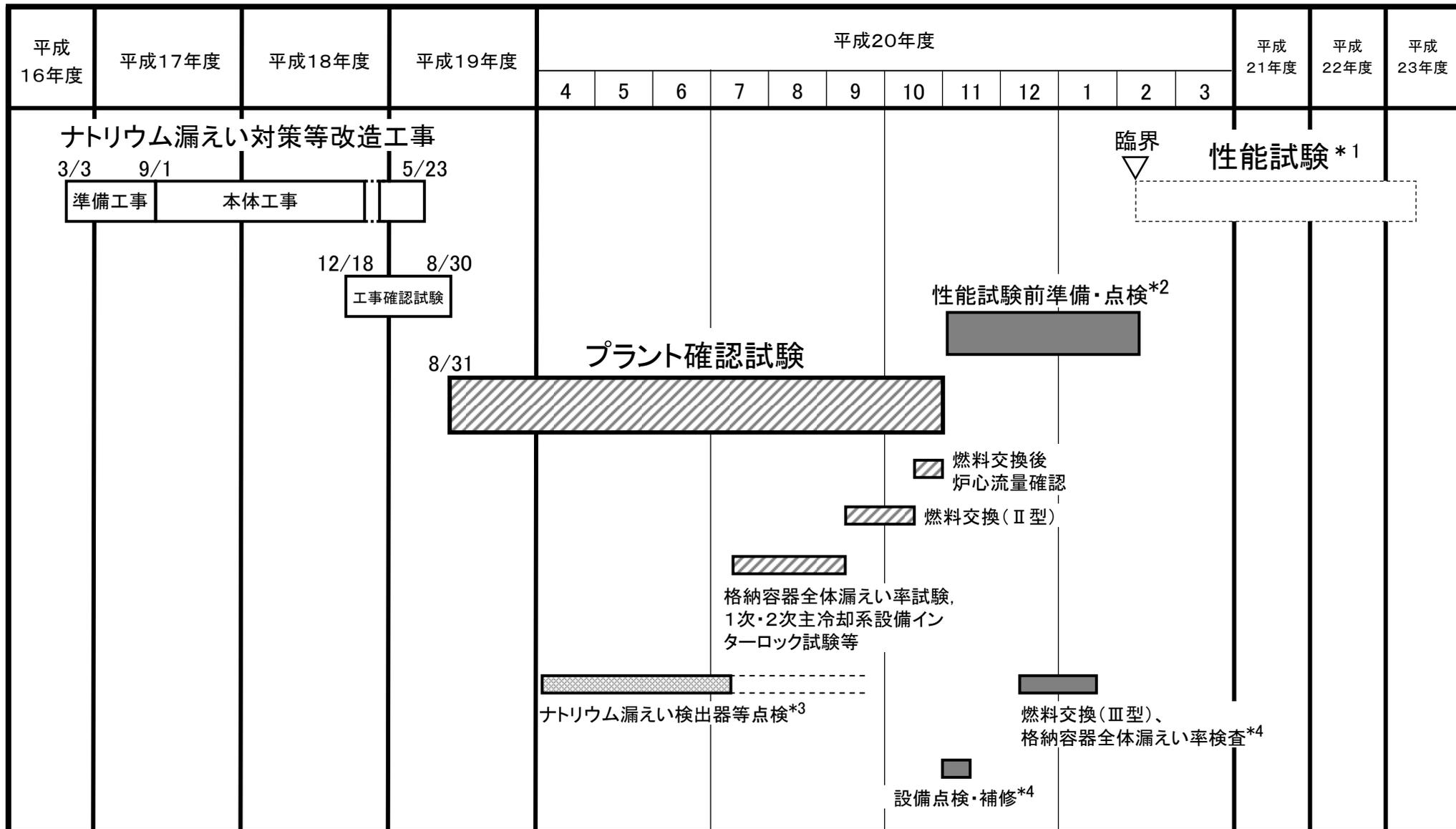
プラント確認試験の工程

変更前	変更後
平成19年8月～平成20年8月	平成19年8月～平成20年10月

このプラント確認試験期間の変更に伴い、現在、炉心に装荷している初装荷燃料Ⅰ型および保管中の初装荷燃料Ⅱ型だけでは性能試験に必要な反応度が得られない見込みであることから、現在、新たに製造している燃料（初装荷燃料Ⅲ型）を追加交換し、必要な反応度を得ることとしている。このための燃料の製造、輸送、燃料交換に要する期間としては、平成20年12月頃までかかる見込みであり、プラント確認試験が終了した後にⅢ型燃料の輸送、燃料交換等の工程を追加する。その後、原子力機構は平成21年2月頃の性能試験再開を目指すこととしている。

問い合わせ先(担当：木下)
内線2357・直通0776(20)0314

「もんじゅ」主要工程(プラント確認試験等)



注) 状況によって工程の変更はあり得る。

- *1 性能試験は、約2年半の予定で炉心確認試験、40%出力プラント確認試験、出力上昇試験の3段階で行うことを予定。
- *2 性能試験前準備・点検は、設備点検・補修、制御棒駆動機構の作動確認、燃料交換、格納容器全体漏えい率検査や系統別の弁・電源等の状況確認を実施する。
- *3 点検報告書のとりまとめ作業等を継続中。
- *4 今回の工程変更で、性能試験前準備・点検として追加した項目。